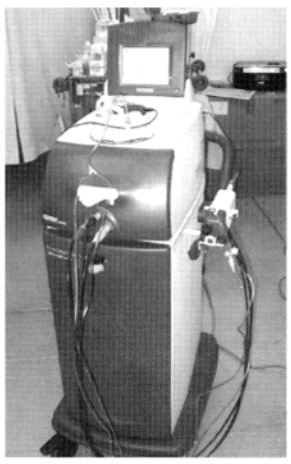
「マンモトーム」とは？

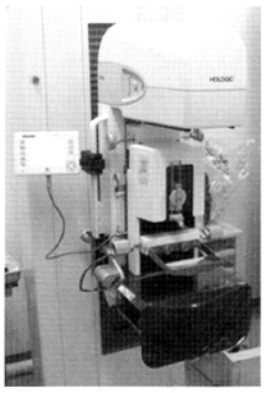
副院長・外科　小笠原 和宏

道東初となるマンモトーム生検が当院で始まりました。マンモトームとは、3㎜ほどの太さの針に自動吸引器がついた装置であり、乳腺専用の組織採取装置の商品名です。従来の方法では診断の難しい「ある種」の乳がんの診断に威力を発揮するこの装置が、どのような役割を果たすのか解説する前に、乳がんの診断方法についてお話しておきましょう。

乳がんの診断には、マンモグラフィと超音波（エコー）検査が使われます。乳がんを疑う所見としては、腫瘤（しこり）と石灰化（カルシウムの沈着）、乳腺構造の「ゆがみ」などがあります。通常、しこりを発見すると、エコー検査で位置と大きさや形状を確認し、細い注射針で細胞を吸引して検査する『穿刺吸引細胞診』を最初に実施します。ばらばらになった細胞レベルでの診断では不十分な場合には、もう少し太い針を用いて「糸ミミズ」くらいの組織を切り取り、顕微鏡で調べる「針生検」という検査を行うこともあります。どちらの検査もエコーで病変を見ることができるという条件を満たさなければなりません。乳がんのもう一つの所見である石灰化は、多くの場合細かくてエコーでは正確に位置を決めることができません。実は、石灰化は必ずしも乳がんだけにできるものではなく、乳腺症や線維腺腫、乳腺炎後の瘢痕など、良性の病気でも発生します。マンモグラフィで見える石灰化の形や分布範囲から良性・悪性の判断を下します。悪性を疑った場合、従来は大体の位置を予測して手術で乳腺の一部を切り取るしか方法がありませんでした。マンモグラフィで、石灰化の位置を正確に把握し、狙ったところに局所麻酔をしてマンモトーム装置の針を刺して組織を吸引・採取するのが『ステレオガイド下マンモトーム生検』です。しこりを伴わない石灰化だけの乳がんは、「非浸潤癌（乳管内癌）」といって非常に早期の乳がんである場合が多いのです。これまで「切ることにためらいを感じて」様子を見ていたような石灰化のみの乳がんを、本当に早期のうちに診断できるのがマンモトーム生検の役割です。まったく症状がなくしこりすら触れないような早期乳がんを発見するためにも、マンモグラフィ検診は必須です。多くの女性が少なくとも2年に一度のマンモグラフィ検診を受けることにより、乳がんの死亡率を確実に減らすことができます。ちなみに、エコーで見える病巣であれば『エコーガイド下』にマンモトームを使うことも可能ですが、当院では単にマンモトーム生検と言う場合は『ステレオガイド下』生検を指すことにしています。



▶ 道東では初となるマンモトーム



▲ マンモグラフィー撮影装置

当院の現状の設備では、椅子に腰掛けた状態で乳房を固定しマンモグラフィ撮影します。石灰化が針で狙える位置にあるかどうか、針を刺した状態で石灰化がどの方向に存在するのか、その都度マンモグラフィ撮影をするため少々時間がかかります。最初のマンモトーム生検は非常に順調に進行して約1時間かかりました。その間、患者様には同じ姿勢を維持していただかなければならないため、いくぶんかの辛抱をお願いすることになります。医師・放射線技師・看護師が協力して、安全かつ確実な検査を心掛けております。将来、フィルムに撮影せずデジタル画像をモニター上で確認できるようになれば、時間は短縮可能と思われます。これまでマンモトーム生検を受けるためには、札幌まで泊まりがけで出かける必要がありました。当院では未経験の検査法ですので、十分な術前説明（オリエンテーション）と術後観察を行うために、当面は二泊三日の入院で実施しています。マンモトーム導入が、乳がんの診断と治療が釧路管内で完結できるための大きな一歩となることを期待しております。

実録 感動！ 涙の沖縄マラソン

薬剤部　高橋 道生

私が走り始めたきっかけは、昨年の冬、スキーに行った時に昔から痛めていた右膝がとうとうスキーの踏ん張りが利かなくなり、もう出来ないと分かった時です。趣味らしい趣味がまったく無い私は冬にスキーが出来なくなると居間でテレビを見てゴロゴロ過ごすしかありません、「冬の暇つぶしが無くなった」と嘆く私に妻が釧路町総合体育館でのランニングを勧めてくれたのが始まりでした。

それまでの私は町中で走っている人達を見かけると「何が楽しくて走っているのかな？？」などと思い、まったく理解出来ずにいましたし、初めて体育館に走りに行った時も渋々連れられて行ったものでした。釧路町総合体育館のランニングコースは一周155mでしたが10周走った時には心臓はバクバク、汗はダラダラと自分の体力のあまりの無さを実感するのには十分な距離でした。しかし、走り終わった後に不思議な充実感を味わい、それから週に一回ほど体育館を走る日々が続き、愛犬のウイングが春に亡くなって散歩の時間を持て余してからは家の周りを1km程走るようになりました。その頃の私の走っている姿は見事なメタボ体型のお腹の贅肉が上下左右に揺れ動き「ブルブル燃焼ベルト スレンダーシェイパー」を着けた様な状態でしたが、釧路湿原マラソンの10kmの部に参加した7月になると、「この頃痩せてきたね。」などと言う声がちらほら聞こえてきて、体重を量ってみると80kg以上あった体重が75kg程に落ちていました。生来、褒められると調子に乗る性格なので、そのうちにノサップ岬マラソン、札幌マラソンの10kmの部に参加し続け、その度にランナーズハイを経験し、もう走るのを止められないほどの気持ちに変わっていたのでした。

▲ 3時間機内で待ったピカチューが描かれたボーイング747

平成20年も終わる初雪の便りも聞こえてきた頃、「今年も酒の上での失敗は数知れず、来年で46歳人生の折り返し地点の年齢なのに毎日だらだらと生活して来たな。良い事一つも無かったな。」などと一年を思い返したある日、思い浮かんだのが一年間唯一行なってきたランニングでした。そこで私は来年は良い年にしたい、何か変えたいと思い、3人のお金が掛かる世代の子供を抱える妻に気兼ねして一番安い沖縄のマラソンツアーに申し込みました。

マラソンツアーは千歳発着なので早朝の羽田空港行きの全日空便に乗る為に、前日に釧路駅から千歳空港駅へ向け「特急スーパーおおぞら10号」に乗り込みました。出発前の天気予報では千歳地方は数日間大荒れになる予報でした。列車の中では「3日位前までの天気予報はそんなに悪くなかったはずなのに何で…」と私の脳裏には数年前に家族五人で「愛地球博」を観に行く時に釧路空港が雪で閉鎖になり散々な目に会ったことを思い浮かべていました。千歳空港に着くと案の定、飛行機の離着陸は停止され、ターミナルには欠航になった便に乗る予定の人々が途方にくれて床に座り込み、長いキャンセル待ちの列がいたる所に出来ていて、以前観たテレビニュースのようにごった返していました。―『「20日、21日2日間で29センチの降雪　千歳空港発着予定の約6割311便が欠航約4万3千人に影響、JR運休6万人に影響」（2月22日北海道新聞より）』―

私は「明日は晴れて何とか飛んでくれますように…。」と初詣の時しか願い事をしない神様にお願いして、軽い夕食をホテルの部屋で食べて眠りにつきました。

翌朝、午前6時に起きると空は晴れ雪が止んでいて、期待に胸を膨らませ空港のカウンターに行くと淡い願いはあっけなく崩れ去りました。航空会社のカウンターの女性からは「今日は強風の為に午前中はすべて欠航です。」と言われました（ガーンショック）。しかし、少し心の準備が出来ていた私はすぐに気持ちを切り替えて、何とか那覇空港行きの飛行機に乗り込もうと、必死で午後のキャンセル待ちの列に並びました。早朝から並んでいたので運良く午後一番の12時30分発羽田行きの便を手に入れ、私はこれで何とか沖縄に行けると喜びました（ついてるぞラッキー）。昼の出発時刻が近づき昼食は羽田で食べようとお腹を空かして待っていると、再び降り始めた雪の為に出発が遅れるとの放送が入りました（ちょっとガッカリ）。それでも「午後には沖縄に行けるんだ。」と思いターミナルで待っていると、そのうちに雪がドンドン降り始め、また遅れるとの放送があり、天気の事なのでしょうがないと諦めて待っていると、なんとか午後2時には機内に入ることが出来ました。しばらく機内で離陸を待っていると機長から滑走路の路面状況の確認の為に30分程離陸を遅らせるとの放送がかかりました。新千歳空港には約90台の除雪専用車両と170名の除雪部隊が居るそうです。私は「除雪部隊、除雪車両がんばれ！」と飛行機の窓からエールを送って待っていました。今まで散々待っていたので「ま、30分位は良いか。」と機内でスチュワーデスさんが配る飴を舐めてなんとか空腹を満たしていましたが、この後に機長からの離陸遅延の放送はこれから2回も聞かされ、なんと千歳空港を離陸したのは午後5時、機内で3時間も待たされ続けたのでした。（ウッソだろ～）当然予定していた午後3時30分発の那覇空港行きの便には乗れず、夕方には沖縄に着けるとの私の思惑は見事に砕け散りました。しかし、午後8時の便に乗れば今日中には沖縄に着けると思い直し、一時は沖縄に行けずマラソンのスタート地点にも立てないと諦めた事に比べれば良いと自分を慰めてじっと機内で待っていました。そして、やっと千歳空港を離陸した時には、目じりには涙が浮かんでいました。

（続きは次号へ…）

◀ 沖縄マラソンコース高低図

Vol.1

ふるさと紹介

経営企画課長　高橋 幸三

茨城県鹿島郡波崎町は合併により茨城県神栖市となりました（2005年8月）。神栖市は、茨城県の南東部に位置するところで、太平洋と利根川、常陸利根川に挟まれた地域で、東は、太平洋の鹿島灘、北西は、鹿嶋市、潮来市、南西は利根川を経て千葉県の銚子市、東庄町、香取市に隣接しており、労災病院グループの鹿島労災病院があり、最上階からは、太平洋と銚子が一望できます。鹿島灘と銚子の高台には無数の風力風車が設置していてとってもECOです。

ここで新年なので縁起の良い神宮のお話を盛り込みます。鹿島神宮（かしまじんぐう）は、お隣鹿嶋市にある神社で日本全国にある約600社ある鹿島神社の総本社で神栖市にある神栖神社、千葉県香取市にある香取神社と合わせて東国三社とよばれ、武甕槌神（タケミカヅチ）を祭神としています。武甕槌神が、香取神宮に祀られている経津主神（フツヌシ）とともに武芸の神とされていることから、武術の道場には「鹿島大明神」「香取大明神」と書かれた2軸の掛軸が対になって掲げられていることが多いのです。ちなみに、鹿島アントラーズ（現在最多優勝12冠）の選手もシーズン前にお参りに来ます。